

<参考抄訳>

AIG は、中国において販売代理会社を設立するために PICC ライフと合弁契約を締結

ニューヨーク／北京、2013年5月30日－アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）（「AIG」）、中国人民保険集団股份有限公司（「PICC」）と中国人民人壽保險股份有限公司（「PICCライフ」）は、本日、中国において販売代理会社を設立するために合弁契約を締結したと発表しました。

2012年12月、AIGは最大の主要投資家としてPICCの新規株式公開に参加し、5億米ドルを出資しました。この出資に関連して、PICCライフとAIGは、本合弁販売代理会社を設立することに合意しました。合弁会社による販売が検討されている商品には、共同開発の生命保険およびリタイアメントに関連する保険商品、既存のPICCグループの生命保険商品、および損害保険商品、AIGグループの損害保険商品、ならびにかかる発展市場の需要を満たすためのその他の商品が含まれています。

AIGは販売代理会社の24.9%を保有し、PICCライフが残りの75.1%を保有します。取締役会の人員構成や経営権の割当ては各株式の保有に基づき決定される予定です。

AIGの社長兼CEOであるロバート・H・ベンモシェ氏は、以下のように述べました。「我々は、中国の消費者に対し、その全体的なクオリティ・オブ・ライフを向上し保護することを目的として、生命保険およびその他の金融商品を提供するため、PICCライフとの間で合弁契約を締結したことを嬉しく思います。このパートナーシップは、戦略的な事業拡大の機会を開拓するための、PICCとAIGの間の長年にわたる関係および協力の歴史の上に築かれるものです。我々は、PICCライフとの合弁によって、AIGが、確固たる地位と高い評価を有する現地のパートナーと共に中国の生命保険市場へ参入する類まれな機会を得ることを喜ばしく思います。」

PICCの会長であるウー・ヤン氏は、以下のように述べました。

「中国の消費者は、生涯に渡って関わる保険商品を購入し、それを活用するという変化のなかに現在あり、我々は、この合弁がこの目的の達成を支援し、導くものとなると確信しております。AIGと長年にわたる関係を有する中国で最も古い

保険サービス・グループとして、我々は、中国全土の新規の顧客および既存の顧客にサービスを提供する中で、提供商品を拡大し、最新の目標を達成することを非常に楽しみにしております。」

AIGとPICCライフは、2014年第1四半期までに合併事業の運営を開始する予定です。正確なスケジュールは関連当局の認可次第となります。PICCは1949年に設立された、中国最大の保険会社です。年間合計収入は365億米ドルであり、2012年には、フォーチュン誌が発行する2012年版グローバル500で292位となりました。

PICCは投資持株会社です。PICCは、中華人民共和国において、現在、同国で最も大きな市場シェアを有する中国人民財産保険股份有限公司を通じて損害保険事業を運営しています。PICCは、PICCライフおよび中国人民健康保険股份有限公司（「PICCヘルス」）を通じて生命および健康保険事業を運営しています。包括的な金融サービス・グループとして、同社は資産運用、投資運用、ファンド、信託およびその他専門分野においても事業を行っています。

アメリカン・インターナショナル・グループは、世界の保険業界のリーダーであり、130以上の国や地域で顧客にサービスを提供しています。AIGインシュアランス・カンパニー・チャイナ・リミテッドは、上海に本店を有するAIGの完全所有子会社です。同社は、最大の外資系損害保険会社であり、中国では最も長い歴史を持っています。

#

本プレスリリースには1995年私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）の意義の範囲内で「将来の見通し」に関する記述が含まれています。かかる将来の見通しに関する記述は、過去の事実ではなく、将来の事象に関するAIGの見解のみを表しています。その多くは性質上、本質的に不確実なものでありAIGに制御可能な範疇を超えています。連邦証券法により要求される重要な情報を開示するAIGの継続的な義務を除き、AIGは、たとえ新たな情報、将来の事象またはその他の事由が生じて、書面または口頭を問わず、その見解、目標、予測およびその他の記述を更新または変更する義務を負わず、またそのような義務を明確に否認します。

#